

南山大学人類学博物館

年 報

2015 年度

南山大学人類学博物館

巻頭言

2015 年度には、大きな個人コレクションを寄贈していただいた。人類学者の故・西江雅之氏のコレクションである。

西江氏は主に言語人類学の分野で業績をあげられた方で、日本で最初にスワヒリ語辞典を編さんされたことで知られ、また数十か国語を操る語学の達人であったと伝えられている。その西江氏は、また、一流の旅人であった。本来のフィールドはアフリカかもしれないが、言語人類学の立場から、ピジン語・クレオール語といった植民地言語研究のために、アメリカ、アジア、オセアニアと世界中を網羅するような旅をしている。

西江氏は、また、一流の文章家でもあった。西江氏の著書は数多く、しかも国語の教科書にも採用される名文である。特に旅をめぐる文章はすこぶる魅力的である。

そして、西江氏は、また、一流のフォトグラファーでもあった。写真は旅先・調査先で撮影されたものが主だが、そこからは調査対象としての被写体ではなく、何か自分の家族や友人を見るような、あたたかな視線を感じる。生前にも個展が開かれたりしたが、亡くなった後に西江氏を師と仰ぐ人たちが編纂した『花のある遠景』という写真集は、2015 年 12 月の日経新聞読書面で「2015 私の 3 冊」に選ばれ、同じく 2015 年 12 月の朝日新聞でも「注目の本 心に残る本——書評委員が薦める今年の 3 冊」の中に選ばれた。写真集がこのような形で選ばれるのは珍しいことだという。良いフィールドワーカーは、同時に良いフォトグラファーである、というのは真実である。

実を言えば、南山大学と西江氏とは全く縁も所縁もない。その西江氏のコレクションがなぜ当人類学博物館に寄贈されたのか？そこにはいくつかの偶然と必然が重なり合っているのだが、窓口になっていただいた西江氏のお弟子さんである加原奈穂子氏のご尽力に負うところが大きい。記して感謝したい。

それにしても西江雅之氏という人物は、知れば知るほど魅力的な人である。これから先、もし「西江雅之学」というジャンルができるとすれば、人類学博物館はその拠点となるであろう。否、ならなければならない。

博物館資料が新たな研究の展望を切り拓いてくれる。

2016 年 6 月
南山大学人類学博物館

目次

1. 2015年度の人類学博物館の活動	1
(1) 教育普及活動	1
① 展示	1
② 講座	3
③ 連携授業	4
④ 総合学習	4
⑤ 放送講座	5
(2) 調査・研究活動	5
調査出張	5
(3) 資料の収集・整備と利用	6
① 受贈資料	6
② 燻蒸の実施	6
③ 購入図書	6
④ 受贈図書数	6
⑤ 資料貸出	6
⑥ 取材・調査のための来館者一覧	7
⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載	8
⑧ 当館紹介刊行物一覧	9
(4) 出版活動	9
2. 組織と運営	9
(1) 組織	9
(2) 開館・入館者実績	10
① 開館日数・入館者数	10
② 入館団体内訳	10
3. 規程	12
(1) 南山大学人類学博物館規程	12
(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程	13
(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程	14
(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程	15

1. 2015 年度の人類学博物館の活動

(1) 教育普及活動

教育普及活動として、博物館主催及び博物館実習受講生による企画展示をはじめ、専門家を招聘してのセミナー、フィールドワーク等を行った。また、高校との連携授業を行ったほか、中学生の総合学習・職場体験学習も受け入れ、博物館学芸員の職業体験を通して中高生に博物館の実際を知ってもらった。

① 展示

○博物館主催展

※印の展示……博物館学芸員が企画し、「博物館実習」受講生が授業の一環としてパネル・キャプションの作成および展示作業を行った。

・4つのまなざし ー第2回南山大学人類学博物館紀要展ー※

会期：2015年5月22日（金）～6月18日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：1,097名

・倉田勇コレクション展 織りなす布の世界 ～インドネシアの島々にみる染織の文化～※

会期：2014年6月26日（金）～7月16日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：1,054名

・マチュピチュ村をつくった日本人 野内与吉展

会期：2016年2月18日（木）～4月2日（土）

会場：南山大学人類学博物館

主催：日本マチュピチュ協会・南山大学人類学博物館・

南山大学ラテンアメリカ研究センター

共催：野外民族博物館リトルワールド・名古屋ユネスコ協会

期間中来館者数：670名

・南山大学人類学博物館蔵品展 新収蔵品のおひろめ

会期：2016年2月22日（月）～4月9日（土）

会場：南山大学人類学博物館展示室

期間中来館者数：1,177名

○「博物館実習」受講生主催

・学芸員がえらぶ 人類学博物館、この逸品！

会期：2015年8月5日（水）～9月2日（水）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：201名

・古文書と古地図を知る

会期：2015年10月30日（金）～12月2日（水）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：1,324名

■ギャラリートーク開催：2015年11月19日（木）

テーマ「古文書のかたち 日本勢力の変遷と地図 地図からみる観光都市京都の歴史」

・祈り

会期：2015年12月4日（金）～1月7日（木）

会場：南山大学人類学博物館

期間中来館者数：616名

○2015年度南山大学人類学博物館・明治大学博物館交換企画展

南山大学博物館会場：「江戸の刑罰 応報的刑罰論の超克を目指して」

明治大学博物館会場：「南島との出会い 今泉コレクションにみる民族造形美術品」

会期：2015年9月26日（土）～10月24日（土）

会場：南山大学人類学博物館・明治大学博物館

総来場者数：6,016名

ギャラリートーク ①南山大学人類学博物館会場…10月24日（土）15：20～16：30

人類学博物館展示室

担当：外山徹（明治大学博物館学芸員）

「江戸時代の刑罰とその思想」

聴講者：22名

②明治大学博物館会場…10月10日（土）15：00～16：10

明治大学博物館教室

担当：如法寺慶大（南山大学人類学博物館学芸員）

「オセアニアの不思議なモノたち」

聴講者：17名

在校生向け特別講義 ①明治大学会場…11月6日（金）4・5限

テーマ：南山大学人類学博物館の取組み

講師：黒澤浩（南山大学人文学部教授）

②南山大学会場…12月9日（水）3限

テーマ：古文書から江戸時代を考える

講師：日比佳代子（明治大学博物館学芸員）

② 講座

○フィールドワーク

2015年度フィールドワーク「東海の考古遺跡を歩く 2015」 申込者数：23名

第1回 10月31日(土) 事前指導 講師：如法寺慶大(南山大学人類学博物館学芸員)

第2回 11月8日(日) 「名古屋市守山区の遺跡を歩く～守山白山古墳を中心に～」開催
※天候不順の為12月13日(日)
～変更
小幡茶臼山古墳、小幡長塚古墳、南島古墳(白山神社)、守山瓢箪山古墳、守山白山古墳、龍泉寺宝物館、松ヶ洞古墳群見学

現地講師：深谷 淳氏(名古屋市教育委員会)

第3回 11月22日(日) 「養老町の遺跡を歩く～象鼻山古墳群を中心に～」開催
昼飯大塚古墳、日吉遺跡、象鼻山古墳群、柏尾廃寺見学
現地講師：中島 和哉氏(養老町教育委員会)

第4回 12月6日(日) 「岐阜市の遺跡を歩く～瑞龍寺山頂遺跡を中心に～」開催
瑞龍寺山頂遺跡、岐阜市歴史博物館、信長公居館跡、日野1号古墳、琴塚古墳見学

現地講師：横田宏氏(岐阜市歴史博物館)

高橋方紀氏(岐阜市教育委員会)

第5回 12月12日(土) 事後指導 講師：如法寺慶大(南山大学人類学博物館学芸員)

○博物館講座

2015年度博物館講座『イメージをめぐるヒト・モノ・カタチ』

第1回 5月30日(土) 「仮面が生み出すイメージの世界—アフリカの大地から考える」

講師：吉田憲司氏(国立民族学博物館教授)

参加者数：15名

第2回 6月13日(土) 「古代アンデスの図像の世界—意味と構造」

講師：渡部森哉氏(南山大学人文学部教授)

参加者数：16名

第3回 6月27日(土) 「南島の語り—オセアニアの民族造形物にまつわるもの語り」

講師：後藤明氏(南山大学人文学部教授)

参加者数：13名

第4回 7月11日(土) 「織りこまれる布の世界—東西インドネシアの布が語る人々の心象風景」

講師：吉田裕彦氏(天理大学附属天理参考館学芸員)

参加者数：14名

③ 連携授業

人類学博物館では、2007 年度より名城大学附属高校と連携授業を実施している。この学習連携を通じて、博物館における教育プログラムの策定を試みている。

- 9月28日(月) : 趣旨説明、博物館資料を探せ！(シルエットクイズ&文様探し) [南山]
10月5日(月) : 実物資料を見る①～縄文土器の観察と技術の発見～ [南山]
縄文土器の観察(スケッチ、意見交換、意見に対するコメント等)
土器製作技術の説明(作り方はどこをみるとわかるか、文様施文法入門、
技術からわかること)
10月16日(金) : 実物資料を見る②～用途を考える～ [南山]
・弥生土器の観察(スケッチ、意見交換、レポート)
・用途を考える
10月19日(月) : 考古学で何がわかるか？ [名城]
人類学博物館の一品/逸品①……考古資料
人類学は何を知ろうとするのか？
人類学博物館の一品/逸品②……民族誌資料
11月9日(月) : 実物資料を見る③～土器の分類～ [南山]
・土器の観察、分類、レポート
11月16日(月) : 昭和の一品/逸品……それにまつわる家族の物語 [名城]
11月30日(月) : モノにまつわる物語(発表、コメント、レポート) [名城]

④ 総合学習

本年度は15校より総合学習の申し出があった。(見学×14校 職場体験学習×1校)

○見学

月日	学校名	人数
6月12日	私立海星高校(三重県)	20
6月30日	私立多治見西高等学校附属中学(岐阜県)	46
7月13日	名古屋市立伊勝小学校	40
8月3日・27日	愛知県立津島東高校	34
10月6日	南山中学女子部	38
10月12日	愛知県立阿久比高等学校	22
10月29日	江南市立西部中学校	5
10月29日	扶桑町立扶桑中学校	25
12月4日	大府市立大府中学校	5
12月16日	私立市邨高校(愛知県)	6
1月29日	名古屋市立宮中学校	6
2月3日	名古屋市立平田中学校	6
3月4日	三重県立盲学校	6

○職場体験学習

愛知県 私立 愛知中学校

期間：2015年7月15日（水）～16日（木）

受入人数：5名

実施内容：展示室・収蔵庫掃除、梱包資材作成、梱包体験
資料、図書整理 等

⑤ 放送講座

本年度は㈱NHKエデュケーショナルからの依頼により、放送大学授業番組「博物館展示論」の撮影に協力した。

番組名：「博物館展示論」第7回 2016年4月より六年間放映

撮影資料：姥山貝塚出土加曾利E式土器

写真資料（上智大学西北タイ歴史・文化調査団）

鉞（上智大学西北タイ歴史・文化調査団）

評皇券牒

出演：館長 中裕史

学芸員 西川由佳里

如法寺慶大

(2) 調査・研究活動

積極的にシンポジウム、研究会へ参加し、調査・研究活動を行った。

調査出張

1) 全日本博物館学会

日時：2015年度6月28日

内容：全日本博物館学会第41回研究大会へ出席

出張者：如法寺慶大

2) 平成27年度東海地区博物館連絡協議会総会

日時：2015年度7月2日～3日

内容：平成27年度東海地区博物館連絡協議会総会および
日本博物館協会東海支部総会へ出席

出張者：西川由佳里

3) シンポジウム「ユニバーサルミュージアム論の新展開」

日時：2015年11月28日～29日

内容：シンポジウム「ユニバーサルミュージアム論の新展開」への参加

出張者：如法寺慶大

(3) 資料の収集・整備と利用

本年度は、インドネシア資料、アフリカ資料等、個人のコレクションをまとめてご寄贈いただいた他、生活資料等多岐に渡った資料の寄贈を多数受けた。

① 受贈資料

1. 黒澤磨希氏より ブラザー製ミシン 1点
2. 小久保文雄氏より 袖がらみ 1点
3. 早川正一氏より インドネシア資料、地図等 170点
4. 木村直樹氏より 新聞広告コピー 123点
5. 加原奈穂子氏より アフリカ民族資料等 1408点、写真類 178点 合計 1586点

② 燻蒸の実施

○R棟、G棟ともに

- 6月16日 施工前昆虫トラップ配置
- 6月30日 施工前昆虫トラップ回収
- 7月25日 燻蒸実施
- 7月25日 施工後トラップ配置
- 8月4日 施工後トラップ回収

③ 購入図書

20冊

④ 受贈図書数

発掘調査報告書	一般図書・紀要・年報・図録・研究報告等	たより類
2441	730	252

⑤ 資料貸出

貸出先	資料名・点数	貸出期間	目的
秋田県立博物館	パプア・ニューギニアの磨製石斧 1点	2015年4月15日～ 6月26日	秋田県立博物館企画展「石斧のある世界」に展示するため
高浜市やきもの 里かわら美術館	f字形鏡板付轡1点、 剣菱形杏葉2点、心 葉形杏葉2点、辻金 具1点（以上、大須 二子山古墳出土資 料）青銅製はみ2点 （九州古墳出土）、馬 鐸1点（群馬県前橋 市出土）	2015年6月30日～ 9月16日	特別展「馬、たてまつる一埴輪からおまんと、競馬まで」に展示するため

横浜ユーラシア文化館	上智大学寄贈資料 CD-ROM 1点	2015年5月25日	企画展開催に向けての資料調査のため
名古屋大学博物館	弓1点、矢1点、 槍1点、斧1点	2015年10月28日～ 2016年2月5日	名古屋大学博物館31回企画展「北の縄文人」に展示するため
徳島県立近代美術館	土偶2点（茨城県花輪台貝塚出土ほか）	2015年9月15日～ 12月14日	開館25周年記念「フィギュア展—ヒトガタ、人形、海洋堂—」に展示するため
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	装飾須恵器の動物形装飾部2点（名古屋市城山1号古墳出土）	2015年11月27日～ 2016年1月27日	豊川市桜ヶ丘ミュージアム企画展「こだい鳥エンナーレ」に展示するため
豊橋市図書館	ダイヤブロック、りかちゃんスーパー、ゲイラカイト、億万長者ゲーム、カンジエー博士、マイコンベースボール、ルービックキューブ、卓上ゴルフ、ポータブルモノポリー、ゴレンジャー・カイロカー計10点	2015年11月25日～ 2016年2月3日	図書館資料展「昭和・平成のおもちゃ展」に展示するため
美濃加茂市民ミュージアム	ナイフ形石器（赤土坂遺跡）ほか 計43点	2015年12月1日～ 2016年2月12日	企画展『旧石器—遺跡と発見—』に展示するため
名古屋親子センター	カメ剥製	2016年3月22日～3月27日	暗闇を体験する会場内で、博物館資料の触察を行うため

⑥ 取材・調査のための来館者一覧

来館者名	資料名・点数	実施日
越谷市教育委員会 生涯学習課	土器・土偶（愛知県西尾市清水遺跡）	2015年5月30日
神奈川大学経営学部及び ヤオ族文化研究所 廣田律子氏	白鳥文書 全点	2015年7月27日
豊橋市教育委員会 豊橋市文化財センター	小林知生教授調査「豊橋市嵩山」発掘調査資料（図面類）	2015年7月30日

川崎市市民ミュージアム 新井悟氏	古墳時代和鏡 1 点	2016 年 3 月 25 日～3 月 26 日
---------------------	------------	-----------------------------

⑦ 撮影・他機関刊行物等への掲載

機関名	資料名	刊行物名等	刊行予定
高浜市 やきものの里かわら 美術館	f 字形鏡板付轡 1 点、 剣菱形杏葉 2 点、心 葉形杏葉 2 点、辻金 具 1 点 (以上、大須 二子山古墳出土資 料) 青銅製はみ 2 点 (九州古墳出土)、馬 鐸 1 点 (群馬県前橋 市出土)	市政 45 周年記念特別展 「馬、たてまつる一埴輪から おまんと、競馬まで」 広報広告物全般および図録	2015 年 7 月 18 日
尾道市立美術館	楯 1 点	「キャプテン・クック探検航 海と『バンクス花譜集』展」 展覧会チラシおよび観賞用資 料	2015 年 6 月 26 日
利根町役場	茨城県花輪台貝塚出 土土偶	『利根町勢要覧 2015』、 利根町制施行 60 周年記念オ リジナル切手シート	2015 年 10 月 (要 覧) 2015 年 11 月 (切 手)
徳島県立近代美術館	茨城県花輪台貝塚出 土土偶	開館 25 周年記念「フィギュア 展—ヒトガタ、人形、海洋堂 —」図録	2015 年 10 月 3 日
株式会社フォト・オリ ジナル	千葉県二ツ木貝塚出 土深鉢形土器	「中学必修テキスト社会 教 育出版 歴史」	2015 年 12 月 1 日
有限会社アート・エフ	千葉県二ツ木貝塚出 土深鉢形土器	「NEW BASIC 歴史 I」(東書版) 生徒用・指導用 ほか 10 件	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月
豊川市桜ヶ丘ミュー ジウム	名古屋市城山 1 号古 墳出土 装飾須恵器の動物形 装飾部	豊川市桜ヶ丘ミュージアム企 画展「こだい鳥エンナーレ」 パンフレット、広報物	2015 年 12 月 8 日
山川出版社	千葉県二ツ木貝塚出 土深鉢形土器	『中高一貫校向け日本史』	2015 年 11 月
愛知県総務部法務文 書課県史編さん室	白山藪古墳の搏壁と 粘土槨、大須二子山 古墳出土鏡・武具・ 馬具、犬山市蓮池 2 号墳出土蔵骨器	『愛知県史 通史編 1 原 始・古代』	2016 年 3 月

早尾台自治会広報部	茨城県花輪台貝塚出土土偶	早尾台自治会広報紙「ふれあいの街」	2016年2月1日
(株)NHKエデュケーショナル 教育部大学業務室	姥山貝塚出土土器1点、上智大学西北タイ歴史・文化調査団の写真資料1点、鉦1点、評皇券牒1点	放送大学授業番組「博物館展示論」第7回	2016年4月
藤村 俊	常設展示室 全景写真	『展示学事典』	2016年7月

⑧ 当館紹介刊行物一覧

機関名	内容	刊行物名
朝日新聞	紹介文・写真	『朝日新聞』2015年10月2日～4日付
朝日新聞	紹介文・写真	『朝日新聞』2016年3月25日付

(4) 出版活動

本年度も例年どおり、2点の出版物を刊行した。

- 『南山大学人類学博物館紀要』第34号
- 『南山大学人類学博物館年報 2014年度』(Web掲載)

2. 組織と運営

(1) 組織

1) 職員

館長	中 裕史 (副学長(教学担当/外国語学部教授))
担当教員	黒澤 浩 (人文学部教授)
学芸員	西川 由佳里 (特別嘱託職員) (～2015年9月25日) 如法寺 慶大 (特別嘱託職員) 安藤 菜恵 (派遣職員) (2015年9月24日～12月22日) 鈴木 智子 (特別嘱託職員) (2016年1月7日～)
事務員	室田 美香 (専任嘱託職員) 近藤 幸子 (臨時職員)

2) 博物館運営委員会

委員長	黒澤 浩 (人文学部教授)
委員	吉田 竹也 (博物館学芸員養成課程委員会委員長) 加藤 隆浩 (外国語学部教授) 大塚 達朗 (人文学部教授) 濱田 琢司 (人文学部教授) 大川 隆 (教育・研究支援事務室長) (～2015年9月30日) 土屋 玲 (教育・研究支援事務室長) (2015年10月1日～)

3) 資料評価委員会

委員長	大塚 達朗	(人文学部教授)
委員	加藤 隆浩	(外国語学部教授)
委員	後藤 明	(人文学部教授)

(2) 開館・入館者実績

①開館日数・入館者数

開館日数	入館者数 (授業以外)	団体数	団体人数
279	11087	24	669

②入館団体内訳

・大学見学

日付	団体名	人数	担当課室
10月10日	静岡県立島田高校	80	入試課
10月23日	静岡県聖隷クリストファー高校 (私立)	45	入試課
10月24日	愛知県立日進西高校	18	入試課
10月28日	愛知県立杏和高校	47	入試課
10月30日	愛知産業大学	60	入試課
11月6日	岐阜県立各務原西高校	165	入試課
11月7日	岐阜県立飛騨高山高校	40	入試課
11月10日	静岡県立焼津中央高校	25	入試課
11月11日	愛知県立横須賀高校	50	入試課
11月12日	南山高等学校女子部	35	入試課
11月17日	南山高等学校男子部	65	入試課
12月4日	長野県立岡谷南高校	40	入試課
12月5日	三重県立川越高校	13	入試課
12月10日	岐阜県立岐阜商業高校	40	入試課
12月11日	岐阜県中京高校 (私立)	87	入試課
12月17日	長野県立木曾青峰高校	37	入試課
3月12日	愛知県永徳高校 (私立)	76	入試課
3月17日	愛知県立惟信高校	50	入試課

・大学見学以外の団体

日付	団体名	人数
4月20日	愛知県立総合看護専門学校	80
4月23日	愛知県立総合看護専門学校	40
4月30日	稲沢市教育委員会生涯学習課	3
5月22日	宙の会	10
5月23日	名古屋スリパチ学会	20
6月9日	名古屋大学博物館	35
6月20日	木村氏（個人名予約）	8
7月1日	名古屋大学博物館	16
7月4日	名古屋ライトハウス緑風	27
7月30日	フカガワ氏（個人名予約）	5
7月30日	稲沢文化愛護少年団	20
8月31日	アジア鑄造技術史学会	8
9月15日	鯉城学園郷土史クラブ	8
9月18日	さくらデイサービスセンター	11
9月29日	花水木鯉城会 東星地域会	25
10月2日	アートな美	8
10月9日	名古屋高年大学郷土史	25
11月11日	愛知県青少年赤十字賛助奉仕団	20
11月21日	刈谷市文化財保護ボランティア	4
11月21日	星城大学	41
11月25日	各務原市埋蔵文化財調査センター	32
12月8日	A S C 17 期文化 B 会	20
12月10日	W E S T	19
1月7日	三重県立盲学校	2
1月9日	愛知教育大学博物館学芸員課程	30
1月14日	名古屋大学博物館	20
2月24日	高年大学 O B 地域学科 28	30
2月27日	かながわ考古学財団「埋蔵文化財研修旅行」	21
3月10日	天白こじょう会	40
3月29日	名古屋ライトハウス	9

3. 規程

(1) 南山大学人類学博物館規程

(目的)

第1条 南山大学学則第44条の2にもとづき、本学に南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）を置く。

② 博物館は、「人類学（文化資源学、考古学、民俗学および民族学を含む。）」（以下「人類学」という。）に関する資料の収集、調査、解析、収蔵、管理、保存、展示、公開などを行ない、本学の学生、職員および社会の利用に供し、教育・研究に資することを目的とする。

③ 博物館の組織および運営については、この規程の定めるところによる。

(事業)

第2条 前条第2項の目的を達成するため、博物館は、次の各号に掲げる事業を行なう。

- 1 人類学に係る調査、収集、保存、管理および解析
- 2 人類学の展示および公開
- 3 人類学に関する情報提供
- 4 人類学に関する教育研究の支援
- 5 博物館所蔵資料を利用した生涯学習の企画および運営
- 6 博物館および博物館に従事する職員の資質向上に寄与する学芸員の養成

(館長)

第3条 博物館に館長を置く。館長は副学長（教学担当）とする。

② 館長は、博物館の事業を統轄し、博物館を代表する。

(担当教員)

第4条 博物館に博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）を置く。

② 担当教員は、博物館活動の企画・運営に従事する。

③ 担当教員は、学長が推薦する候補者について、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

(運営委員会)

第5条 博物館の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定する機関として南山大学人類学博物館運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

② 運営委員会に関する規程は、別に定める。

(資料評価委員会)

第5条の2 第2条第1項第1号に定める収集事業を適正に遂行するために、南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「資料評価委員会」という。）を置く。

② 資料評価委員会に関する規程は、別に定める。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑 則)

第7条 この規程に定めるもののほか、博物館の運営について必要な事項は、運営委員会の議を経て、館長が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(2) 南山大学人類学博物館運営委員会規程

(目 的)

第1条 南山大学人類学博物館運営委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関する重要事項を協議し、諸事全般を決定することを目的とする。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 博物館担当教育職員（以下「担当教員」という。）
- 2 博物館学芸員養成課程委員会委員長
- 3 学長より推薦された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- 1 博物館の予算（案）および決算（案）に関する事項
- 2 博物館資料の収集選択に関する事項
- 3 博物館関係規程の制定または改廃に関する事項
- 4 博物館の事業に関する事項
- 5 その他博物館の管理運営に関する重要事項

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、担当教員をもってあてる。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、特に定めのある場合のほか、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の

過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2005年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(3) 南山大学人類学博物館資料評価委員会規程

(目的)

第1条 南山大学人類学博物館資料評価委員会（以下「委員会」という。）は、南山大学人類学博物館規程第5条の2にもとづき、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）において行なう博物館資料の収集に関する事項を協議し、決定することを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 1 南山大学人類学博物館運営委員会委員2名
- 2 博物館長より指名された者若干名

② 委員は、大学評議会の議を経て、学長が委嘱する。

③ 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第3条 委員会は、博物館資料の寄贈の申入れについて、南山大学人類学博物館運営委員会の諮問に基づき、その可否を審議、決定する。

(議事運営)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選出する。

② 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

③ 委員長に支障のあるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

④ 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数をもって議決する。

⑤ 委員会は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教育・研究支援事務室が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

(雑則)

第7条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、2006年7月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

(4) 南山大学人類学博物館ボランティア規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、南山大学人類学博物館（以下「博物館」という。）におけるボランティア（以下、「博物館ボランティア」という。）の活動内容および登録手続等を定める。

(目 的)

第2条 博物館ボランティアは、博物館と共働して教育普及活動の向上に取り組み、利用者と博物館資料および博物館との交流を促し、「すべての人の好奇心のための博物館－ユニバーサルミュージアム」の実現と発展に寄与することを目的とする。

(活 動)

第3条 博物館ボランティアは、前条の目的を達成するために次の活動を行う。

- 1 館内における利用者の誘導、展示室における展示解説ならびに監視
- 2 その他、博物館事業への協力活動

(活動上の原則)

第4条 博物館ボランティアの活動は、博物館の教育普及活動の一部に携わるものであるため、ボランティアは、一定の規律と責任が伴うことを自覚し行動する。

② 博物館ボランティアは、その活動に関して個人情報や適正に取り扱う義務を負うとともに、個人情報および活動上知ることのできた秘密について守秘義務を負う。ボランティア登録を取消した後も同様とする。

(登 録)

第5条 博物館ボランティアへの登録は、人類学博物館事務室（以下「事務室」という。）に申請するものとし、人類学博物館運営委員会委員長がこれを承認する。

② 博物館は、ボランティア登録の承認が得られた者に対し、「ボランティア証」を交付する。

(登録取消)

第6条 ボランティアの資格は、次の各号の一に該当するときは登録取消とする。

- 1 登録取消の申し出が本人より事務室へあったとき
- 2 第4条に違背する行為があったと認められるとき

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、人類学博物館運営委員会および大学評議会の議を経て、学長の承認を得なければならない。

附 則

この規程は、2014年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、2015年4月1日から施行する。

2016年6月20日 印刷

2016年6月20日 発行

南山大学人類学博物館年報 2015年度

編集・発行 南山大学人類学博物館

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

phone 052 (832) 3147 内線 5223

印刷 株式会社ウエルオン

460-0007 名古屋市中区新栄 3-21-31

TEL 052 (732) 2227